



NTTデータ<9613>、デジタルマーケティング支援のネットイヤーグループ<3622>をTOBで子会社化



NTTデータは、東証マザーズ上場でインターネット活用によるマーケティング支援業務を手がけるネットイヤーグループをTOB（株式公開買い付け）で子会社化することを決議した。議決権ベースで60%の株式取得を目指す。東証マザーズ上場は維持する。ネットイヤーは今回のTOBに賛同を表明している。

買付価格は1株850円で、TOB公表前日の終値416円に104.33%のプレミアムを加えた。買付価格は35億6855万5000円。買付期間は2月6日～3月6日。決済の開始日は3月13日。

ネットイヤーは1997年に、電通の傘下企業の米国法人の子会社として発足し、ネットを活用したマーケティング支援事業やインキュベーション（ふ化）事業を展開。1998年に経営陣による買収（MBO）により電通グループから独立し、翌1999年に日本国内拠点としてネットイヤー・ナレッジキャピタル・パートナーズ（2003年に現社名に変更）を設立し、今日にいたる。

ネットイヤーはオウンドメディア（広報誌、Webサイトなど自社媒体）やアーンドメディア（ブログやSNSなど）のデータ活用を通じた経営・マーケティング部門に対する問題解決力に強みを持つ。NTTデータは同社を傘下に取り込むことで、顧客企業の経営・マーケティング・ITを横断した包括的なソリューション提供が可能になると期待している。